

RemoteCall 動作環境				
区分		OS/ブラウザ・バージョン	オペレータ側	顧客側
Windows	OS	Windows 2008 Server R1、R2	○	○
		Windows 2012 Server R1、R2	○	○
		Windows 2016 Server	○	○
		Windows 2019 Server	○	○
		Windows 7	○	○
		Windows 8、8.1	○	○
		Windows 10	○	○
	ブラウザ	Internet Explorer 10.0 ~11.0	○	○
		Microsoft Edge	○	○
		Firefox 35以降 Chrome 40以降	○	○
Mac	OS	MacOSX 10.10~10.14.x *1	○	○
	ブラウザ	Firefox 35以降	○	○
		Chrome 40以降	○	○
		Safari 7.0以降	○	○
Mobile	モバイルサポート	iOS 9.0~12.x *2	-	○
		Android 5.0~8.0.x *3	-	○
	現場サポート	iOS 9.0~12.x	-	○
		Android 4.1~8.1.x	-	○
Language		-	日/英/韓/中/西/仏/葡	日/英/韓/中/西/仏/葡

\*1 MacOS用Viewerはbeta版です。

\*2 iOSモバイルサポートは全端末で画面共有に対応しています。

\*3 Androidモバイルサポートは全端末で画面共有と描画に対応しています。(x86\_64チップセットを除く)

※Samsung Galaxyシリーズ、SONY Xperia Z/XZシリーズ、LG製端末は遠隔操作も可能です。

※他の端末及びOSバージョンは個別カスタマイズで対応可能な場合があります。

端末メーカー様のご協力および、カスタマイズ費用が発生するため別途ご相談ください。

制限事項に関しては、次ページをご確認ください。

## RemoteCall 制限事項

各OS、ブラウザのサポートポリシーの変更により、該当環境を製品サポート対象外に変更する場合があります。開発社の推奨環境でのご利用をお勧めします。

- WindowsOS全般にかかわる制限 ※Windows 2in1PC含む  
Windows8 RT Surface RT, Windows mobile , Windows10 Sモードには対応していません。

Windowsタブレットのタブレットモードでは、共有画面が正常に表示されない場合があります。

- macOSにかかわる制限  
Hackintosh等非正規端末の場合、動作保証ができません。

OS構成が32bit環境の場合、正常に動作しない場合があります。

ホスト名に50byte以上の文字を設定されている環境では利用できません。

macOS Viewerはbeta版のため一部ご利用できない機能があります。  
対応機能に関しては機能対応表をご確認ください。

macOS10.14以降の環境を制御するには別途設定が必要です。【[詳細を見る](#)】

[RemoteCall MacOS Viewer \(beta\) 機能対応表](#)

- モバイル端末にかかわる制限  
ルート化、Jailbreakなどを行った端末の場合、動作保証ができません。